



ヤスハラケミカルは、人や環境にやさしい天然素材の原材料を活かした製品を開発・提供することはもとより、資源調達から製造、流通、販売まであらゆる企業活動において環境への配慮を行うことで、持続可能で豊かな環境づくりに貢献していきたいと考えています。

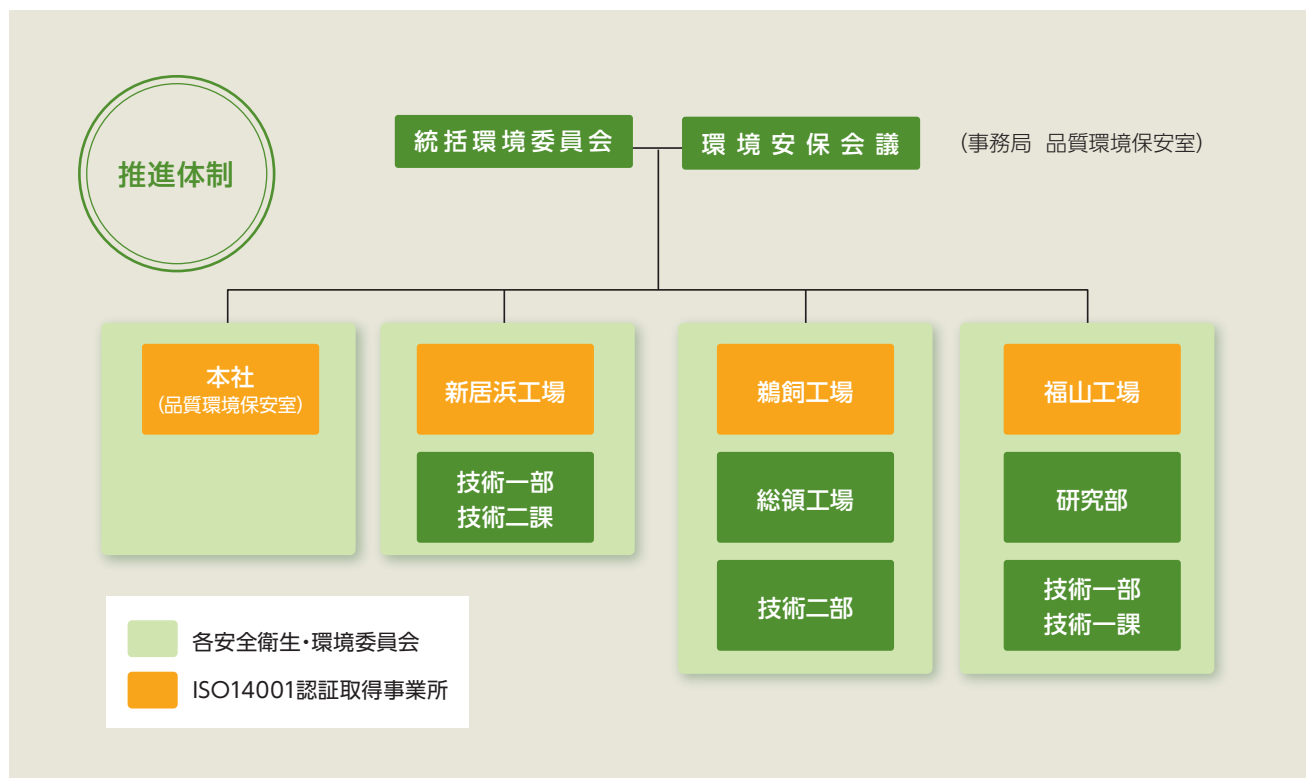
《 環境・安全に関する基本方針 》

- 1 天然物の有効活用による安全で環境負荷低減型製品の開発により、各産業分野における地球環境保護(省資源、リサイクル、健康有害物の排除など)の推進に貢献する製品を提供することで社会に貢献します。
- 2 製品の開発から廃棄に至るまでのライフサイクル全般にわたり、環境負荷の低減を図り、環境保護に努めます。
- 3 無事故・無災害の操業を継続し、従業員と地域社会の安全を確保します。
- 4 原料、製品の安全性を確認し、従業員、物流業者、顧客など関係する人々への健康障害を防止します。

全従業員は、この方針の重要性を認識し、法令、規格及び社内ルールを順守するとともに、常に改善に努力すること。

2006年5月2日

ヤスハラケミカル株式会社 代表取締役社長 安原 禎二



目標達成状況

2019年度の具体的目標と実績

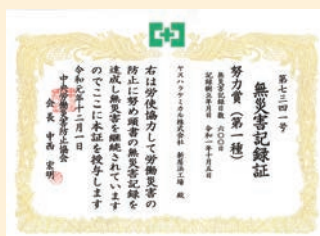
ヤスハラケミカルでは、各工場での環境目標を数値設定、励行することで、事業活動全体における環境負荷の削減を推進しています。

環境活動の目標と実績				
活動テーマ	2019年度目標	2019年度実績	評価	2020年度目標
環境マネジメントシステム (EMS) の推進	EMS認証取得3工場の認証維持	EMS認証取得3工場の認証更新	○	EMS認証取得3工場の認証維持
省エネルギーの推進	エネルギー原単位前年度比1%削減	エネルギー原単位前年度比3.7%増加	×	エネルギー原単位前年度比1%削減
温室効果ガスの排出削減	CO2原単位前年度比1%削減	CO2原単位前年度比 22%増加	×	CO2原単位前年度比1%削減
産業廃棄物の削減	産業廃棄物排出原単位削減	産業廃棄物排出原単位 0.6%削減	○	産業廃棄物排出原単位削減
	廃棄物排出量削減	廃棄物排出量 5.9%削減	○	廃棄物排出量削減
化学物質の適正管理	PRTR排出量削減	PRTR排出量 8%削減	○	PRTR排出量削減
	化学物質リスクアセスメントの実施	化学物質リスクアセスメントの実施	○	化学物質リスクアセスメント手法の見直し及び継続実施
災害・事故	休業災害・事故ゼロ	休業災害・事故ゼロ	○	休業災害・事故ゼロ
環境・社会報告書発行	年1回発行	6月発行	○	年1回発行

○目標を達成 ×目標を達成できなかった

無災害記録証授与制度

当社は、2002年1月より独自の制度によって、安全意識の向上を目的に、規定の連続無災害日数を達成したグループに対して安全表彰を行ってまいりました。長年この制度を運用していく中で、いくつかのグループが、この制度の規定に基づく最長の連続無災害日数を達成したため、更なる安全啓発を図るべく、2018年1月より中央労働災害防止協会主催の中小企業無災害記録証授与制度を活用することにいたしました。その結果、新居浜工場（従業員数50名）では、2019年10月5日に第1種記録（無災害記録日数600日）を樹立し、中央労働災害防止協会より記録証が授与されました。



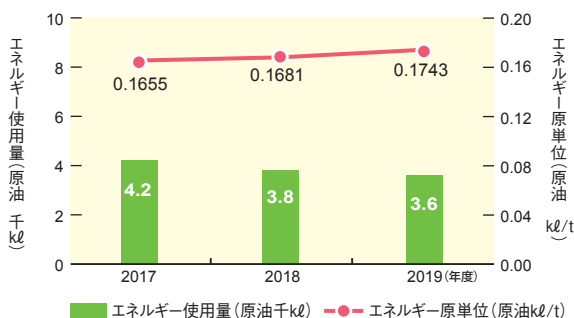
労働災害の無い、安全で快適な職場で働くことは、仕事に従事するすべての人々とその家族の願うところです。記録を継続するため、今後とも現場巡視を実施するなど、安全な職場で在り続けることができるよう、引き続き努力してまいります。

新居浜工場 工場長 河野 全秀

事業活動における環境配慮への取り組み

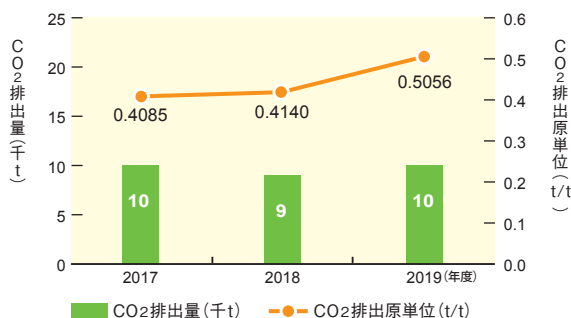
エネルギー使用量

2019年度は設備合理化や原料蒸留残渣のボイラー燃料活用等によりエネルギー使用量は減少しましたが、生産品目の変動等によりエネルギー原単位は前年度比3.7%増加しました。引き続き省エネルギーに努めます。



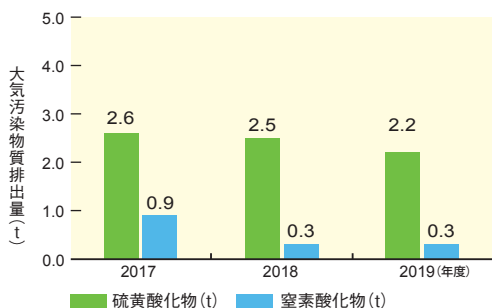
CO₂排出量

2019年度は原料蒸留残渣の活用等による燃料使用量削減を継続しましたが、生産品目の変動等によりCO₂排出量増加原単位は前年度比22%増加しました。引き続きCO₂排出削減に努めます。



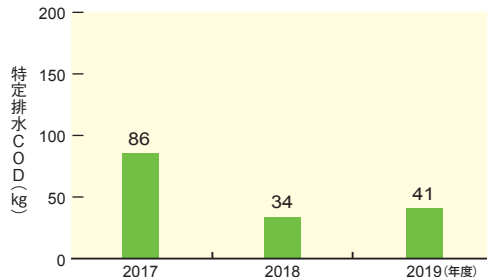
大気汚染物質の排出量

2019年度は生産量減少等に伴い、硫酸化物排出量が前年度比10%減少しました。引き続き大気汚染物質の排出削減に努めます。



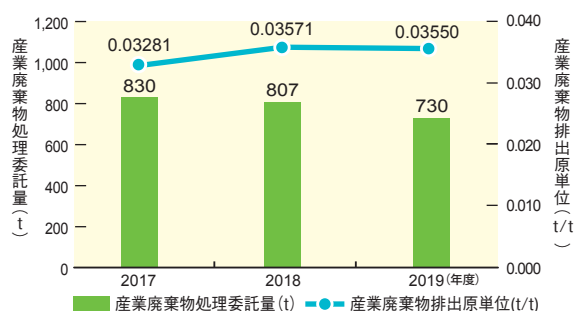
水質汚濁物質の排出量

2019年度は設備合理化を継続しましたが生産品目の変動等により、COD負荷量は前年度比21%増加しました。引き続き水質汚濁物質の排出削減に努めます。



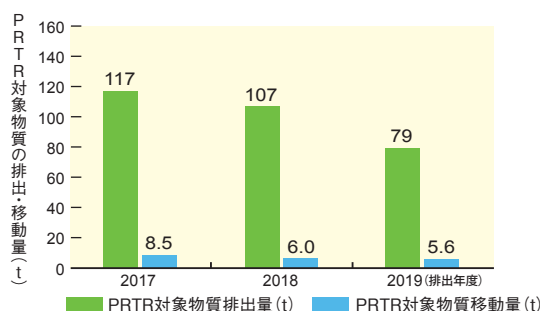
産業廃棄物処理委託量

2019年度は生産品目変動等の影響により、産業廃棄物排出原単位は前年度比0.6%減少しました。引き続き産業削減、有価物への転換等に努めます。



PRTR対象物質の排出・移動量

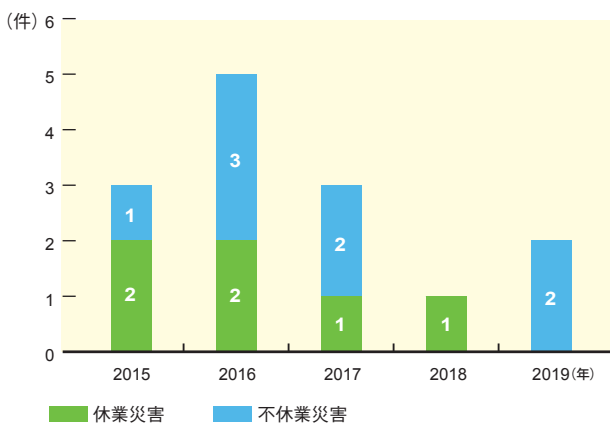
2019年度は、生産品目変動等の影響により、PRTR対象物質排出量は前年度比27%減少しました。引き続きPRTR対象物質の排出・移動量の削減に努めます。



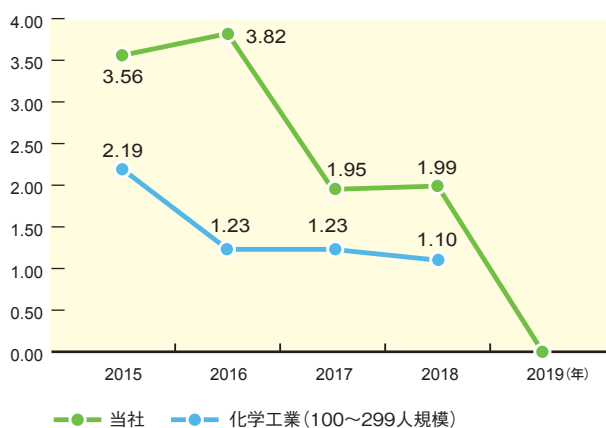
安全衛生への取り組み

ヤスハラケミカルは、安全を最優先に事業活動を行い、安全、健康そして快適な職場づくりに取り組んでいます。

労働災害発生件数の推移



休業災害度数率の推移



※度数率は、100万延べ実労働時間当たりの労働災害による死傷者数で、災害発生 の頻度を表す。

$$\text{度数率} = \frac{\text{労働災害による死傷者数}}{\text{延べ実労働時間数}} \times 1,000,000$$

※出典：厚生労働省「平成30年労働災害動向調査(統計表)一般産業第2表」(2019年11月29日公表)

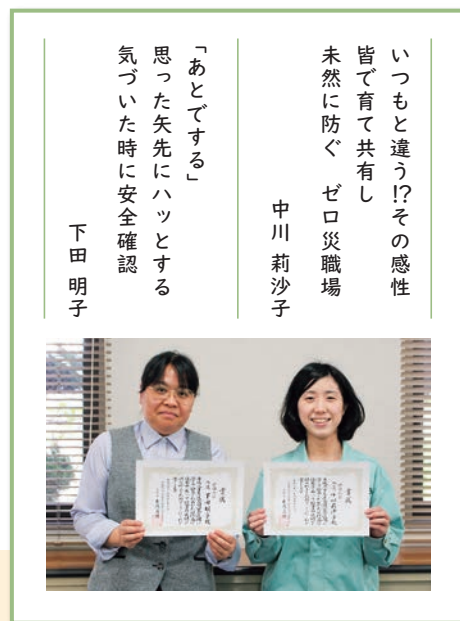
安全衛生・環境に関する資格の保有者数

当社では、安全衛生・環境に関わる必要な資格の積極的な取得に努めています。

法的に定められた選任者は充足していますが、新入社員をはじめとした若手従業員を中心に資格取得の推進を図り、スキルアップにつなげています。

資格名称	2019年度保有者数*(名)
公害防止管理者	22
エネルギー管理士	11
衛生管理者	27
特別管理産業廃棄物管理責任者	9
ボイラー技士・整備士・溶接士	53
危険物取扱者	190
消防設備士	28
高圧ガス製造保安責任者	71

※延べ人数



COLUMN

安全衛生意識向上にむけて

当社では、従業員の安全衛生意識向上のため、スローガンの掲示・唱和や「全国安全週間」「全国労働衛生週間」等にあわせて安全衛生標語を社内募集しています。優れた作品については社内表彰するとともに、地域の安全衛生関係組織(労働基準協会等)に応募しています。

このたび、社内優秀作品について地域の労働基準協会が全国安全週間に募集した「安全標語」に応募を行ったところ、当社2名が安全関係の標語で表彰されました。表彰は、地域の企業の安全衛生担当者や労働基準監督署をはじめとする来賓が多数列席する中ステージ上で行われ、大変栄誉あるものとなりました。

このように盛大に表彰されることは、従業員一人一人にとって強い動機付けになり、継続的な安全衛生意識向上につながっていくものと考えております。